

高德桜樹に書するの図題す

塩谷節山

一七〇

虎豹門を守りて
庭院深し

柝声雨に和して
夜沈沈

天勾踐を空しうする
勿れ

時に范蠡無きしも
非ず

白桜の花底詩を題する
処

芳烈千秋十字の
心

【作者】

塩谷温（おん）（一八七八〜一九六二年）のこと。漢学者。東京生まれ。漢学者塩谷青山の子。号は節山。一九〇二年東京帝国大学

漢学科卒。一九〇六年母校助教となり、ドイツのライプツィヒ大学、ついで清国の北京および長沙にて研究、一九一二年帰国、一

九二〇年元曲に関する研究で文学博士号を授与され、同年教授、一九三九年定年退職、名誉教授となる。